

施策評価シート【分野別施策】

施策名				関係部			
3－①		環境にやさしいまちづくりを推進する		環境部、まちづくり政策部			
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値					5年度 目標値
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度	5年度	
二酸化炭素総排出量（年間）	千 t- CO2	1,810	1,803	1,798	2,718	2,762	1,650
大気汚染に係る環境基準達成率	%	80	80	80	80	81	81

関連事業				
○地球温暖化対策推進事業○環境監視指導事業○電気バス導入促進事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	59,429	71,704	99,617	78,413
執行率（%）	94.46	96.21	82.29	96.57

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
・「ひらつか CO2CO2（コツコツ）プラン」の実施、環境・地球温暖化対策出前講座の開催や学校における「わかば環境ISO」の推進など、地球温暖化対策の普及啓発に取り組むとともに、市庁舎本館敷地内に設置している電気自動車用急速充電器の管理運営を行いました。 ・本市の助成により導入された電気バスが、南北都市軸の新たなバス路線等での運行を開始しました。また、電気バスの本格的な導入に向けて、バス事業者との協議を行いました。 ・環境状況の把握に努め、環境測定レポートや市ホームページで環境情報を公表するとともに、事業所への立入調査・指導を実施し、公害の防止を図りました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」
・市民や事業者に対する脱炭素社会の実現に向けた意識付けや行動変容を促進するとともに、市が率先して脱炭素化に取り組む必要があります。 ⇒公共施設への太陽光発電設備や高効率省エネ設備の導入、公用車の電気自動車への切替など、市が率先して再エネ・省エネに関する取組を推進するとともに、住宅や事業所における再生可能エネルギーの利用と省エネの取組を促進します。また、学校、地域、環境活動団体、事業者等と連携し、脱炭素社会の実現に向けて、デコ活をはじめとした普及啓発活動を加速します。 ・電気バスの導入コストが高騰しているため、路線バス事業者に対する支援が必要です。 ⇒ゼロカーボンシティの実現に向けて、補助制度を継続し、電気バスの導入を支援します。

・大気・水質などの生活環境を良好な状態に保つ必要があります。

⇒立入調査や環境関連法令についての周知・啓発を積極的に実施し、事業所による自主的な公害防止を促進します。また、費用対効果を踏まえた分析調査や監視測定を進めます。